|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 授業科目名 | ものづくり実践演習 | 科目コード |  |
| 英字科目名 | Manufacturing Exercise | 課程名 | IoT時代の機械設計技術者講座 |
| 科目区分 | 必修 | 開　講　時　期 | 後期 |
| 代表教員 | 千田　陽介 | 時　　　　　間 | 30時間 |
| 担当教員 | 千田　陽介 (Yosuke SENTA)：実務家教員＊，澁谷 秀雄（Hideo SHIBUTANI） |
| 使用テキスト | なし |
| 授業の概要 | 反動車型倒立振子を設計製作する． |
| 到達目標 | (1)CADを用いた機構／回路設計ができる(2)設計した機械部品や電子回路を製作できる(3)制御プログラムが作成できる． |
| 授　業　計　画 |
| 講　義　内　容 | 修得すべき項目 |
| 5時間 | 課題に対する設計方針の検討：双方向 | □課題に対する設計方針の検討，その内容について受講者および担当教員と討論する． |
| 1時間 | 中間プレゼンテーション：双方向 | □設計方針をプレゼンテーションする． |
| 8時間 | 設計：双方向 | □CADを用いて機構や回路の設計をし，その内容について受講者および担当教員と討論する． |
| 15時間 | 製作：双方向 | □機械部品や電子回路，制御プログラムを作製し，その内容について受講者および担当教員と討論する． |
| 1時間 | 最終プレゼンテーション：双方向 | □製作課題をプレゼンテーションする． |
|  |  | □ |
|  |  | □ |
|  |  | □ |
|  |  | □ |
|  |  | □ |
|  |  | □ |
|  |  | □ |
|  |  | □ |
|  |  | □ |
| 履修上の注意 | 必要に応じて，授業開始時にプリントを配布する． |
| 準備学習の内容 | 教科書や参考図書で講義内容を確認しておくこと． |
| 参考図書 | 授業で紹介する． |
| 学習相談 | 澁谷研究室（創造工房）　e-mail : hideo@kurume-it.ac.jp |
| 成績評価方法 | 出席状況，プレゼンテーション，レポートおよび提出課題 |
| 備考 | ＊1997～2016 年まで (株) 富士通研究所にて研究員としての経験あり。 |